

秦野市農地利用最適化推進委員の推薦・募集状況(最終)

(敬称略)

番号	被推薦者(応募者)										法人・団体		個人			推薦理由 (応募理由)
	氏名	性別	年齢 (歳)	職業	主な経歴	農業経営の状況		認定農業者等	農業委員への推薦	希望担当区域	名称	代表者	氏名	性別	職業	
						営農類型	経営耕地面積(a)									
1	湯山 正計	男	68	農業	蓑毛自治会連合会会長 東地区自治会連合会副会長 秦野市自治会連合会理事	露地野菜	12			東	東地区 生産組合	大代表 牧嶋 義和				性格も温厚で責任感が強く、取りまどめ役として周囲の人からも信頼を得ている。また、地域活動にも積極的であり、地域農業の発展に向けての活動も高い意欲をもっていることから、今後の活動に大いに期待できる。
2	山岸 勉	男	68	農業	生産組合長 J Aはだの理事	茶 水稲 露地野菜 果樹	68	○		東	東地区 生産組合	大代表 牧嶋 義和				地域の中核的な担い手として長年活躍しており、地域活動にも積極的であり、農業者はもとより農業以外の地域住民との交流も盛んで地域の取りまどめ役として厚い信頼を得ている。秦野市の農業振興に寄与する積極的な発言や活動が期待できる。
3	小林 哲夫	男	72	農業	J Aはだの理事	酪農	30			南	南地区 西町生産組合	代表 小林 允				長期にわたり酪農を営み、人望厚く、地域のJ A役員として積極的に貢献されてきた。最適化推進委員に適任であると考ええる。
4	加藤 敏雄	男	67	農業	農地利用最適化推進委員 北町自治会副会長	露地野菜	10			南	自ら応募					前回の最適化推進委員の経験を生かし、地域農業の発展に尽力したため。現在の農業は大変革期にあり、体力的にも自信があるので、農業者との調整も積極的に行いたい。
5	増田 幸治	男	69	農業	認定農業者	果樹	80			上	上地区 生産組合	大代表 熊澤 定雄				長年にわたりお茶を中心に営農し、現在規模縮小により認定農業者でなくなったが、それまでは認定農業者として活躍(部会の役員等)した。また、人・農地プランの掲載者として上地区の農地の現状に精通している。
6	石井 優行	男	71	農業	堀川中生産組合長 堀川中自治会長	露地野菜	35			西	西地区 生産組合	大代表 柳生 真之				市役所での長年の勤務に加え、堀川中生産組合で2期にわたる組合長としての活動実績、堀川中自治会長としての経験から西地区の農政や地域の実情に精通している。このことから最適化推進委員にふさわしいと考ええる。
7	山田 文夫	男	73	農業	戸川西自治会長 北財産区議員 戸川西生産組合長	露地野菜	36			北	北地区 生産組合	大代表 山口 市郎				長期にわたり生産組合長を務めJ A組合長活動への大きな経験がある。人望が厚く地域の活動、役員として積極的に貢献されている。以上、最適化推進委員に適任と考ええる。

8	高梨 福太郎	男	72	農業	秦野市役所職員	茶	45		北	北地区 生産組合	大代表 山口 市郎				J Aの組合活動への大きな貢献実績があり、人望も厚く地域の活動に積極的に貢献している。
9	伊奈 肇	男	66	農業	J Aはだの職員 下大槻上部生産組合長 農地利用最適化推進委員	露地野菜	20		大根	大根地区 生産組合	大代表 原 敬				J A在職中から現在まで長年にわたり農家の長男として農業に従事しており、農業に関する十分な知識を有し、地域の事情にも精通している。また、生産組長や推進委員も務めるなど、農業振興に尽力しており、地域の人望も厚いため最適化推進委員に適任と考える。
10	井上 一志	男	58	農業	鶴巻第二生産組合長	水稻 果樹	150		鶴巻	大根地区 生産組合	大代表 原 敬				長年にわたり農業に従事しており、農業に関し十分な知識を有するとともに地域の事情にも精通している。生産組合長も経験し、農業振興に尽力しており、地域での人望も大変厚い人物である。よって、最適化推進委員として適任であると考える。
11	監物 良子	女	66	農業		水稻 露地野菜 果樹 花き	166		本町	秦野市農業協 同組合	代表理事組合長 宮永 均				施設花きを主に栗・野菜を栽培する認定農業者の妻として自身も農業に従事し、カーネーションを使ったアレンジメントに着手するなど技術研鑽と販売の工夫を実践してきた。大学卒業後の40年以上の営農経験から地域農業に精通しており、加えて強い責任感を有し職務への貢献が期待できる。
12	坂上 絵里子	女	39	農業 会社 経営	(有)石庄丹沢そば茶屋本舗 代表取締役 農地利用最適化推進委員	露地野菜 そば	272		上	丹沢エメラル ドバージン そばを守るイ ベント会	代表 坂上 絵里子				これまでの経験と知識を生かし、今後の農業のあり方、地域発展、活性化に貢献できる人物で、最適化推進委員に適任であると考える。
13	倉田 和志	男	72	行政 書士	地方公務員 行政書士 関東農政局 生産・経営専 門調査員		0		1西 2北	自ら応募					行政書士や国の専門調査員として農業関係者と接する機会が多く、農業の行く末に関心が強い。営農農家ではないが、自ら畑で露地野菜を作り、食料の有難さや生産の大変さを実感している。気候変動や後継者不足等の衰退要因が増えているが、今までの経験を生かしながら農地利用の最適化を推進し秦野市の農業行政に貢献したい。